

黒大豆の選別

12月3日(土)12月4日(日)、格納庫で黒大豆の選別を計画しておりますのでよろしくお願い申し上げます。

収穫祭12月18日(日)スポーツセンターにて

多数のご参加をお願いします。

「視察研修」に参加して 谷山正

11月22日(火)、晴天、JA京都丹波支店生産振興会視察研修会に参加しました。視察は、岡山県赤磐市「みのる産業株式会社」様の工場見学でした。みのる産業株式会社は、昭和20年に創業した農業機械メーカーで、田植え機、脱穀機をいち早く発明され会社運営されていたが、昭和30年代に農業機械の大手メーカーの出現により、独自の農業機械開発をしながら今日に至っておられる。大手企業とは、異なり、農業者に耳を傾け、農業者のためになる商品を数が少なくても発明し、製造販売されている。現在では年間280種類の機械を作っておられる。農業が厳しい状態になれば、会社も厳しくなるので多方面にも進出しておられる。特に「壁面緑化」に手掛けられている。「壁面緑化」とは、名前のとおり建物の外壁部分を緑化することを指す。屋外緑化の外壁版とも言える。街の中で緑の壁を育てる。植物に最適な環境を与えている。他には、ゴルフ場、レストラン、シイタケの栽培も手掛けられている。

工場見学させていただいたが、整理整頓がきちりされており、従業員の働き方も良い商品を一生懸命作ろうと努力されているように伺えた。製品の種類は、田植え機、直播機、野菜移植機、苗箱用播種機、育苗関連製品、防除機、畑作関連製品、生活関連、施設用品などであるが、ほたるの里で利用しているのは、「なかよしくん」の黒豆定植機、「ももたろう」の除草剤散布機、餅つき機などである。

今回の研修で勉強したことは、多くの部品、製品を見事に整理・整頓がなされている。ほたるの格納庫等でも整理整頓をしていく。

厳しい農業情勢の中で、いかにして、運営していくか、広い分野に目を向けてチャレンジしていかなければならない。難しいことだがその心だけは持って運営していきたい。

工場見学の中で安全対策も完全にされているようでした。ほたるの里でも安全意識の徹底に努めたい。

壁面緑化

